

企業版ふるさと納税の寄附対象となる 令和2年度 長崎県の地方創生プロジェクト

1 地域の将来を担い支える 若者の人材育成プロジェクト

全国より約50年早く人口減少が始まった長崎県は、若者の県外流出に大きな危機感を持っています。

県では、将来の地域産業を担うリーダーとなる人材の確保・定着を目的に、大学等を卒業後、対象業種の県内企業に一定期間就業した学生の奨学金返済を支援するため産業界と連携して創設した「産業人材育成奨学金返済アシスト事業」により、若者の県内定着を促進します。

また、これからの長崎県を支える人材を育成するため、高等学校における地域課題解決型の探究学習やふるさと教育等を推進します。



県内企業と学生の交流会

2 Society5.0へ向けた 次世代人材創造プロジェクト

NEW!

全国的に情報セキュリティ人材が不足する中、全国初の情報セキュリティ学科を有する長崎県立大学において産学連携の拠点となる「情報セキュリティ産学共同研究センター（仮称）」を整備し、企業との共同研究等を推進するとともに、実践的な教育を通じて即戦力となる高度専門人材の育成と県内産業の振興を図ります。



セキュリティ演習室とネットワーク可視化システム



長崎県立大学佐世保校キャンパス整備イメージ

また、佐世保校の校舎建替えによる教育環境の充実を図るとともに、県内企業での長期インターンシップ、ビジネス経済の実践、「しま」でのフィールドワークなど地域に根ざした実践的教育により、主体性や課題発見力を備えた社会が求める人材の育成に取り組みます。

3 次代に紡ぐ『長崎百年の計』 まちづくりプロジェクト

NEW!

長崎県は「まち」の佇まいが大きく変わり、まさに100年に一度の大きな変革の時期を迎えています。この変化をチャンスと捉え、さらなる地域活性化を図り、魅力あるまちづくりを推進します。

【令和2年度事業】

- ・令和4年度の九州新幹線西ルート開業効果を最大限に高めるため、誘客促進・満足度向上対策等を推進します。
- ・長崎空港の24時間化を目指し、官民連携した取組を推進します。

【今後見込まれる事業】

- ・長崎スタジアムシティプロジェクトと連携したまちづくり等



4 長崎の宝物を世界と未来につなぐプロジェクト



世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の多くは離島や半島にあり、地域の方々が大切に守っています。

しかしながら、これらの地域では特に人口減少や高齢化が進み、修復費用の負担が大きな課題となっています。

そこで、長崎県では「長崎のたからもの」を未来へ継承していくために、修復費用の助成を行っています。



※修復工事中の黒島天主堂（佐世保市）
工期は令和3年3月までの予定

5 スポーツでエールを&アートで彩りを『つながるナガサキ』プロジェクト



NEW! 県内では、海岸沿いコースを走るサイクリングイベントや、離島の小さな教会でのコンサートなど、地域の特色を活かした様々なイベントが開催されています。

スポーツや文化・芸術活動を通じて、さらなる交流人口や関係人口の拡大を図り、地域の活性化を推進します。

【令和2年度事業】

- ・穏やかな流れと長大な直線距離を有する本明川（諫早）を活用した競技用ボート練習場の整備を行います。
- ・文化芸術等で地域振興・交流人口の創出を目指す「長崎しまの国際芸術祭」を開催します。



アートプロジェクト「そらあみー奈留島ー」

6 ながさきのしま活性化プロジェクト



NEW! 全国一の離島県である本県では、平成29年の「有人国境離島法」の施行を契機に、雇用機会の拡充をはじめ法律に基づく新たな施策の積極的な活用によって、これまでに人口の社会減が大きく改善するなどの成果が現われています。

この取組とあわせて、各しまの優れた農水産品等の島外への売り込みを拡大し、しまの活性化をさらに推進します。

【令和2年度事業】

- ・しまの産品振興による地域活性化を図るため、食品流通専門の団体と連携しながら、消費者視点を重視した官民一体となったプロジェクトを展開します。



7 日本の最西端ながさきを目指す国際展開プロジェクト



アジアに近接する本県の地理的条件を活かし、海洋県長崎の基幹産業である水産業をはじめとする本県産品について、輸出拡大に向けた「情報発信」や「産品ブランド化」、「輸出体制の強化」に取組み、地場産業の活性化による新たな雇用の機会を生み出すことを目指します。

